

雌阿寒岳の火山活動解説資料

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

雌阿寒岳で、ごく小さな噴火が発生しました。噴火の発生場所はポンマチネシリ 96-1 火口で、火口周辺には数十センチ程度の噴石が飛散し、火口から概ね 300～400m の範囲で降灰が確認されました。

雌阿寒岳では火山活動が高まっており、今後もしばしばごく小さな噴火が繰り返し発生し、火口から約 500m の範囲内に弾道を描いて飛散する大きな噴石が飛散する可能性がありますので、警戒が必要です。

平成 20 年 11 月 17 日 14 時 30 分に火口周辺警報（火口周辺危険）を発表しました。

○ 活動概況

本日、北海道及び陸上自衛隊第 5 旅団の協力を得て、上空からの観測を実施しました。ポンマチネシリ 96-1 火口周辺では、100m 以内の範囲で数十 cm 程度の噴石が確認され、火口から南側約 300～400m の範囲で降灰が確認されました。14 時 30 分頃のポンマチネシリ 96-1 火口では、白色にやや灰色が混じった噴煙が確認されています。

昨日 10 時 05 分頃から現在まで断続的に火山性の連続微動が観測されています。空振計では噴出に伴うと推定される振動は記録されておらず、ごく小さな噴火が発生した時間は不明ですが、降雪の状況や雌阿寒岳上空の風向から、噴火は本日発生したと考えられます。

雌阿寒岳で噴火が発生したのは 2006 年 3 月 21 日以来です。

本日釧路地方気象台が山麓での降灰調査を実施しましたが、山麓での降灰は確認されておりません。

火山活動は高まっており、引き続き火口から約 500m の範囲内に弾道を描いて飛散する大きな噴石が飛散する可能性があります。GPS 連続観測では火山活動によると考えられる変動は観測されていない等、より大きな噴火が発生する兆候は見られておりません。

今後の火山活動の状況等については、11 月 19 日 16 時頃に発表する火山の状況に関する解説情報でお知らせします。

火山活動に変化がみられた場合は、随時、お知らせします。



図 1 雌阿寒岳 遠望カメラによるポンマチネシリ火口付近の状況 (11 月 18 日 12 時 05 分 図 5 の上徹別より撮影)



図 2 雌阿寒岳 東側上空から見たポンマチネシリ火口付近の状況 (11 月 18 日 14 時 23 分撮影、北海道の協力による)



図 3 雌阿寒岳 西側上空からみたポンマチネシリ 96-1 火口付近の状況 (11 月 18 日 14 時 59 分撮影、陸上自衛隊第 5 旅団の協力による)
図 2 の□に対応

